【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公表番号】特表2007-523207(P2007-523207A)
【公表日】平成19年8月16日(2007.8.16)
【年通号数】公開・登録公報2007-031
【出願番号】特願2007-500151(P2007-500151)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 239/42 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 405/12 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 409/12 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 401/12 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/505 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/5377 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/506 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/496 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 45/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 29/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 19/02 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 19/06 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/02 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 21/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/06 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 17/02 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 17/06 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 27/06 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 27/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 11/06 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 11/08 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 27/16 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 11/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 1/04 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 5/14 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 7/06 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 21/04 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/10 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 37/02 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 13/02 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 15/10 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/28 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/14 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/16 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/24 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/18 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/22 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 15/06 (2006.01)
A 6 1 P 25/20 (2006.01)
A 6 1 P 13/12 (2006.01)
A 6 1 P 1/00 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【ＦＩ】

C 0 7 D 239/42 C S P Z
C 0 7 D 405/12
C 0 7 D 409/12
C 0 7 D 401/12
A 6 1 K 31/505
A 6 1 K 31/5377
A 6 1 K 31/506
A 6 1 K 31/496
A 6 1 K 45/00
A 6 1 P 43/00 1 1 1
A 6 1 P 29/00
A 6 1 P 19/02
A 6 1 P 29/00 1 0 1
A 6 1 P 19/06
A 6 1 P 25/02 1 0 5
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 25/06
A 6 1 P 17/02
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 27/06
A 6 1 P 27/00
A 6 1 P 11/06
A 6 1 P 11/08
A 6 1 P 27/16
A 6 1 P 11/00
A 6 1 P 1/04
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 5/14
A 6 1 P 7/06
A 6 1 P 21/04
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 9/10
A 6 1 P 37/02
A 6 1 P 13/02
A 6 1 P 15/10
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 25/14
A 6 1 P 25/16
A 6 1 P 25/24
A 6 1 P 25/18
A 6 1 P 25/22
A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 15/06
A 6 1 P 25/20

Ａ６１Ｐ　13/12
Ａ６１Ｐ　 1/00
Ａ６１Ｐ　35/00

【手続補正書】
【提出日】平成20年1月31日(2008.1.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
式（Ｉ）で示される化合物はまた、精神病、例えば、統合失調症、鬱病（本明細書において、精神病性特徴、緊張病性特徴、鬱病性特徴、非定型特徴もしくは産後発症を伴うかまたは伴わない、双極性鬱病、単極性鬱病、単発性もしくは反復性大鬱病エピソード、季節性情動障害、非定型特徴を伴うかまたは伴わない早発性または遅発性の気分変調障害、神経症鬱病および社会恐怖症、例えばアルツハイマー型の認知症に付随的な鬱病、鬱病型分裂情動性障害および心筋梗塞、糖尿病、流産または堕胎などを包含するがそれらに限定されるものではない一般的な医学的症状に起因する抑鬱性障害を包含するものとして使用される）、不安障害（汎発性不安障害および社会的不安障害を包含）、パニック障害、広場恐怖症、社会恐怖症、強迫性障害および心的外傷後ストレス障害、認知症、健忘性障害および年齢関連記憶障害を包含する記憶障害、神経性食欲不振症および神経性大食症を包含する摂食行動の障害、性的機能不全、睡眠障害（概日リズムの妨害、睡眠異常、不眠症、睡眠時無呼吸およびナルコレプシーを包含）、コカイン、エタノール、ニコチン、ベンゾジアゼピン、アルコール、カフェイン、フェンシクリジン（フェンシクリジン様化合物）、アヘン剤（例えば、ヘロイン、モルヒネ）、アンフェタミンまたはアンフェタミン関連薬物（例えば、デキストロアンフェタミン、メチルアンフェタミン）またはその組み合わせのような薬物の乱用からの離脱の治療においても有用であり得る。